



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

世界理解推進月間

第449回 平成9年2月28日(金)

### [本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング  
「奉仕の理想」
3. 百万\$の食事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 会員増強委員会
8. 点 鐘

### 次回予告

\* 3月7日(金)

セレモニー

会員卓話

林 厚雄君

例会場変更

「シーサイド・ホテルフェニックス」

\* 3月14日(金)

夜間例会

会員卓話

福田 誠君

創立10周年記念行事実行委員会

2/28.

PETS(10ツツ)

3/7.

ツースイッチ

12:30分集合

### 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

会長 伊東忠寛

例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913

副会長 徳丸彰一

事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-

幹事 赤木達也

佐土原町建築業協会内

会計 宮原建樹

☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

会審委員 垂水敏雄

## 第448回例会記録

1997. 2. 21

☆ 会長より 伊東忠寛君

### 1 会長の時間

#### (1) 『新世代と語る会』の準備会について

宮崎市郡6RC合同の新世代会議が、5月10日開催予定で準備が進められていますが、去る2月17日に第2回の青少年委員会及びローターアクト等若者との打ち合わせ会が開催され、当クラブから徳丸委員長が出席していただき報告をいただきました。

佐土原RCから2～3名の青少年リーダーの選出をして実行委員として今後の準備会に参画することになりますが、選考に伴いまして会員各位に事前の根回しをした結果、3名の候補者があり本日佐土原町役場に向いて協力依頼をすることになりました。

夜分遅く会員の皆さんに電話させていただきましたが、ご協力ありがとうございました。

2月24日(月)午後7時30分から同じような体制で第3回の準備会が開催されます。

#### (2) 例会出席率の確保について

例会出席率を高めるための方策として、標語ステッカーが出来上がって参りましたのでお届けします。

会員各位の自宅の「一日一回は必ず目に付く場所」に掲示していただき、家族ぐるみで例会出席に関心を持っていただき、出席率を高めていきたいと思えます。

前回の例会で事務局の池田さんから「最近、連絡体制表による連絡が徹底していない…」との報告があり、再度協力依頼をお願い

いしたのですが、徹底していないようです。

月当番者は責任をもって実行していただきたいと思います。

(3) 交通事故と職場の士気

先日我が社の女性社員による交差点における出会いがしらの交通事故が発生しました。

会社に通じる道路であり日に何回となく通いなれた場所であり、極めて危険な場所で十分理解されているのにも関わらず、漫然と進行したことが原因のようです。

相手が旅行中の高齢のご夫婦であり、病院に入院されましたが社用中の事故だけに会社の管理者として早速お詫びとお見舞いにお伺いしました。

幸いお二人とも打撲症（2週間）でしたが、旅先のことですから相手の身になっているいろいろお世話しなければなりません。

このような不祥事の際、社員としては責任を感じる一方精神的に苦しい立場におかれているだけに、社長が自ら一緒になって対応する姿勢・社長の背中を見てやる気を起こさせることができるのであります。

そこに組織の一員としての士気が高まり、愛社精神が生まれ全体の士気高揚に繋がると思います。

(4) 例会場変更のお知らせ

佐土原RC10周年記念行事実行委員会の業務をスムーズに執り行なうため、先ず全会員が会場の実態を把握していただきたい。

来る3月7日の例会会場を『シーサイド・ホテルフェニックス』に変更して実地踏査をしていただきたいと思います。

会場のレイアウトを頭に入れていただき、3月23日の日向中央RC創立10周年記念行事に参加していただきます。

(5) 会員増強委員会について

次回（2月28日）は、会員増強委員会となっています。

予定者に対する勧誘状況報告及び情報の積極的な報告をお願いします。

2. 今月の言葉

『新雪連天白』

(新雪天に連なりて白し)

円覚寺派管長 足立大進 老師

[大意]

古来、雪は豊年の兆しとして喜ばれた。数日降り積もった山々の雪の純白さが、さながら天空に悠々抱かれある雪景と一体となり、限りなく見事である。

これは一切の対立を超越した『無心』の姿でもある。

☆幹事報告

赤木達也君

例会変更通知

- \*都城RC 2月28日 18:10  
大太鼓
- \*宮崎南RC 3月3日 12:30  
宮崎市総合福祉保健センター
- \*日向東RC 3月4日 12:00  
美々津町並資料館
- \*日向中央RC 3月5日, 12日, 19日  
の例会は、日向ハイツで行います。
- \*日向中央RC 3月26日の例会は、創立10周年記念式典のため、3月23日13:00から日向ハイツで開催。
- \*西都RC 3月18日 19:00  
ウェディングパレス敷島



☆出席報告

委員長 山本民生君

会 員 数	30名
H C 出席者数	23名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	76.7%
メークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	86.7%
欠 席 者 名	帆・雅詩・伊藤・重林

☆会員卓話

田村勝二君

我々の酒仙歌人若山牧水の歌に、こんな歌があります。“とろとろと琥珀の清水 津の国の銘酒白鶴 瓶あふれ出づ”

まず、酒文化の主役は神社仏閣でした。

なにしろお神酒であり、また般若湯でありました。室町時代初期の文安元年(1444)には、麴の取引をめぐって騒動が起きました。月桂冠の酒は、京南部にある伏見で、鉄分の少ない中硬水で造りますが、硬水で造るより口当たりが柔らかく、ふくよかな酒が生まれます。

四季を通じて醸造に成功しています。

菊正宗は硬水で、ミネラルを含んでいます。別名男酒とも言い、キリッとした味わいが身上です。また、大関はパーソナルな感覚で、相撲の大関賞に提供されたり、南極観測船宗谷に積み込んだりしました。冷用酒や冷凍酒を開発して販売もしました。殊にワンカップ大関は圧巻です。白鶴は菊正宗とは本家、分家の関係で、両家で灘中学・高校を設立したのは有名です(東大への名門校)。楽しい時に味わう酒を、悲しい時に癒す酒を!